

試作と量産のズレ防ぐ

サンワ金型 一貫サポート本格導入

金型設計・製作を手掛けるサンワ金型（本社安城市和泉町、鈴木秀和社長、電話0566・92・6150）は、納入先大手企業の試作品製作、生産技術開発、量産立ち上げの各工程（部門）での業務を金型製作を軸に一貫してサポートし、工程間で生じるデータのやり取りだけでは防ぎきれない微妙な形状・仕様の差異を抑制する「量試一貫」のサポートサービスを導入した。刈谷市に本社を置く大手自動車部品メーカーで既に着手。生産技術と量産の工程間でリードタイム短縮に実績を挙げており、現在、試作品（新製品開発）工程も含むトータルサポート体制を構築中だ。

（安城・山岡賢彦）

各工程で品質安定図る



鈴木秀和社長

同社は、金型を使う大半の業種、特に工程間の意思疎通が難しい巨大企業で効果が高いことから、2月11、12日に安城市体育館で開かれる「安城ものづくりコンベンション2016」を皮

切りにサービスの周知を進め、他業種への新サービス普及に安定した金型納入先の獲得も狙っていく。新サービスは①新製品サ

ンプル製作②生産技術開発サポート③量産型製作の3段階。同社の持つ、金型データベースや自動設計などITによる効率化技術や、超高速・高精度対応の高難易度金型製作技術を駆使し、高品質・短納期を実現している。

サンプル製作では量産加工時に近い製品を提供、試作品と量産時の性能差を安定させ、量産立ち上げの際のトラブルを未然に防ぐ。生産技術開発では試作時の技術蓄積に納入先の「こんなことができた」というアイデア・提案も組み入れながら技術を熟成させる。量産金型製作ではさらに調整やメンテナンス性向上を図り、量産開始時の品質・価格・納期を向上させる。「他工程に『仕事』を正確に伝えるのは難しいが、一貫して『仕事』を把握している当社がサポートすることで、工程間の壁をなくすお手伝いをする」（鈴木大輔常務）のが狙いだ。

どういった試作から量産へスムーズに生産移行できるかがポイントです。

試作品とズレがある！



試作品が量産された時にカタチが変わったことはありますか？

サンワ金型は試作品の採用設計から量産まで、量試一貫のサポートで、品質の向上、短納期、コスト削減を実現します。

「安城ものづくりコンベンション2016」に向けたパンフレットの原案